

沖縄総合事務局の取組について

内閣府沖縄総合事務局 運輸部・開発建設部

運輸部企画室と開発建設部建設行政課、有識者からなるバリアフリープロモーターを県内市町村に派遣し、バリアフリー法の説明や、基本構想作成の流れ、メリット等を説明し、基本構想及びマスタープランの作成を促進している。

年度	自治体
R1	那覇市（バリアフリー基本構想セミナーを那覇市と共催）
R2	全市町村対象（本省主催の説明会）、浦添市
R3	沖縄市、浦添市、宮古島市、八重瀬町、糸満市、うるま市、名護市、石垣市、竹富町
R4	那覇市、浦添市、豊見城市、宜野湾市、南城市、宜野座村、名護市、うるま市、沖縄市、読谷村、北谷町、石垣市、竹富町
R5	石垣市、八重瀬町、竹富町、うるま市、沖縄市、糸満市、那覇市、浦添市
R6	那覇市、沖縄市、宜野湾市、宮古島市、竹富町、石垣市
R7	那覇市、宮古島市、恩納村、本部町、国頭村、大宜味村、東村、伊平屋村

プロモート活動実績

沖縄管内プロモーター
(令和7年度時点)

- ・NPO法人エンパワメント沖縄
NPO法人沖縄県障がい者スポーツ協会
理事長 高嶺 豊
- ・NPO法人バリアフリーネットワーク会議
代表者 親川 修
- ・NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会
代表者 仲根 建作
- ・公益社団法人沖縄手をつなぐ育成会
理事長 田中 寛

状況に応じてプロモーターを派遣

沖縄における移動等円滑化の推進を図るため、令和7年9月11日に第7回移動等円滑化評価会議沖縄分科会を対面・オンラインのハイブリッド方式にて開催。

《第7回移動等円滑化会議沖縄分科会 概要》

1. 沖縄における移動等円滑化の進捗状況について
バリアフリー法に基づく基本方針に定められた整備目標の達成に向け、引き続き移動等円滑化を推進していくことを確認

2. 沖縄総合事務局の取組みについて
当局において今年度予定しているバリアフリー教室や自治体へのプロモート活動等について報告

3. 建築物バリアフリー化の取組みについて
バリアフリー法の建築物分野について説明し、実事例や支援事業について確認

（上記1～3は事務局より報告）

4. 美栄橋公園リニューアル完了とバリアフリー化について
（那覇市 都市みらい部 公園管理課より）
那覇市のバリアフリー基本構想における取組として、重点整備地区内に位置する美栄橋公園のバリアフリー化と全面的なリニューアル完了について報告

5. ヘルプマーク等の啓発活動について
（公益社団法人 沖縄県手をつなぐ育成会 田中寛より）
目視にて障害特性等の判断が厳しい人の為の「ヘルプマーク」、「ヘルプカード」について周知及び啓発活動への協力呼びかけ

＜参加委員から頂いた主なご意見＞

- ・車椅子利用者にとって、ゆいレールのホームと車両の段差・隙間は依然として課題であり、今後の継続的な解消努力をお願いしたい。
- ・視覚障害者にとって、バスのドアが開いている間、系統・行き先の音声案内がされていると非常にわかりやすいため、全バスで導入してほしい。
- ・バス停の名称について、ホテル名など地名の入っていない名称が増えていくと、視覚障害者はどこに来ているかわからなくなるので地名を含めたバス停の名称にしてほしい。
- ・バス停名が変わった場合は文字情報・音声情報など視覚・聴覚それぞれの障害に応じた告知を行ってほしい。
- ・首里城では視覚情報が少なく、案内表示も位置が低く、人ごみの中では見えにくいので目線に合わせて案内を設置してほしい。
- ・ジャングリアではどのようなバリアフリーの取組を行っているのか、情報提供をしてほしい。



移動等円滑化評価会議委員によるジャングリア沖縄の視察

第7回移動等円滑化評価会議沖縄分科会にて委員から、令和7年7月25日にオープンしたジャングリア沖縄のバリアフリー取組紹介を要望する意見があり、(株)ジャパンエンターテイメント協力のもと、評価会委員(障害者団体のみ)によるジャングリア沖縄の視察・意見交換を行った。

＜＜現地視察・意見交換の概要＞＞

日時	令和8年2月26日 13:30～16:00
参加者	NPO法人エンパワメント沖縄 NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会 社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会 一般社団法人沖縄県聴覚障害者協会 公益財団法人沖縄県手をつなぐ育成会 沖縄県発達障害者支援センター 株式会社ジャパンエンターテイメント 沖縄総合事務局 運輸部企画室
内容	・パーク内のバリアフリーについて現地視察、事業者による説明 ・意見交換

＜＜現地視察の様子＞＞



＜＜頂いた主な意見＞＞

- ・アトラクション体験にて適切な案内がなく、体験するまで時間がかかりスムーズな体験提供ができなかったなど聴覚障害者の声を聞いている。これからはスタッフ対象に障がい者対応マニュアル作成、実習・研修などを進めて、たくさんの障がい者が笑顔で楽しめるジャングリアになってもらいたい
- ・アトラクションについても、介助者と一緒にあれば視覚障害者も十分に楽しめる内容であると感じました。
- ・発達障害者には疲れやすい方が多いので、静かな場所で人の視線を気にせず休めるスペース「カームダウンスペース」があるとよりパークを楽しめると思います。

高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験などを通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、視覚障がい者等に対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降、地域住民や公共交通機関で働く人々を対象にバリアフリー教室を開催している。

日 程: 令和7年12月19日 13:30～16:30

場 所: 沖縄美ら海水族館

参加者: 国営沖縄記念公園(海洋博公園)・沖縄美ら海水族館職員 33名

主 催: 内閣府沖縄総合事務局(運輸部企画室、開発建設部建設行政課)

協 力: 一般財団法人 沖縄美ら島財団

内 容: 座学・車いす体験・アイマスク体験・高齢者体験

講 師(座学・体験): NPO法人バリアフリーネットワーク会議 親川 修
(体験): NPO法人バリアフリーネットワーク会議 桐原 好枝

座学

イベントホールにて実施。

講師はプロモーターの親川氏。

「困りごとは個人によって異なるため、障害特性の理解が必要。

最大のポイントは全員に同じ支援を提供するという平等では

なく、必要に応じて支援量を

変える公平という考えを持ってほしい。」「災害が起きた際に障害のある方を安全に避難させる逃げるバリアフリーの整備が必要。」というお話があった。



車いす体験

ジンベイザメモニュメントを見下ろせる小高い丘にある坂路を利用。

車いすの使い方の説明の後、車いす体験者と介助者のペアとなり車いすで移動。スロープや段差等を確認した。



アイマスク体験

4階踊り場に点字ブロックシートを敷設し使用。アイマスク着用及び白杖を持った体験者と介助者がペアとなり、点字ブロックや階段を移動した。



高齢者体験

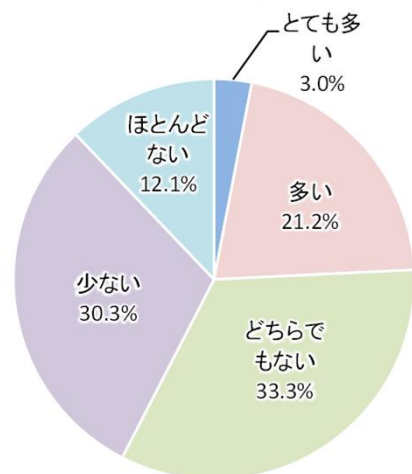
水族館入口近くの階段を利用し、3階から4階踊り場へ移動。

高齢者疑似体験セットを装着し、案内板の見え方や階段の昇降を確認した。

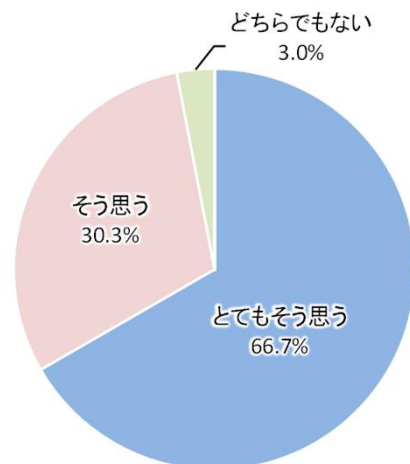


アンケート

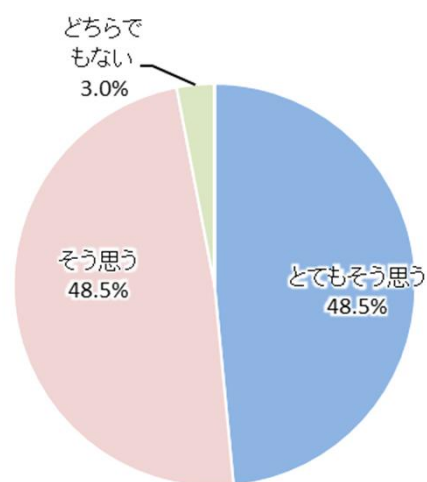
バリアフリー教室に終了時にアンケートを実施し、受講しての評価や感想などを把握した。概ね高評価、好意的な感想があった。



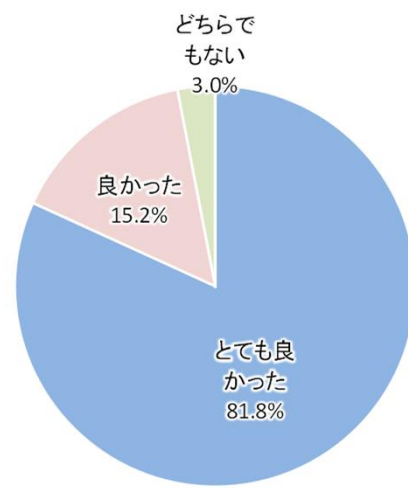
日ごろから障害者や高齢者と接する機会は多いか n=33



講師の説明は分かりやすかったか n=33



心のバリアフリーの理解は深まったか n=33



教室に参加した感想 n=33

自由意見(抜粋)

- ・車いす体験をとおして、園内は階段や長い坂が多いため、進みやすい経路の優先案内を心がけたいと思った。
- ・白内障体験と難聴体験を同時に実施したので、怖かった。階段の上り下りは手すりがあるだけでも大変助かることを実感した。
- ・地面の凹凸があると、白杖が引っかかる。いざ体験してみないとわからないことが多い。
- ・災害避難経路、多言語対応についてもっと考える必要がある。逃げるバリアフリーというキーワードについて気づき、痛感した。
- ・沖縄美ら海水族館は万人に公平に楽しんでもらえるように、利用者や介助者の気持ちに寄り添い、安心して来園できる水族館を目指す責任があると感じた。

日 程: 令和7年9月11日 10:35~12:15
場 所: 浦添市立浦城小学校 体育館
参 加 者: 浦城小学校生徒 57名(特別支援学級1年~6年生)
主 催: 沖縄総合事務局
協 力: 浦添市立浦城小学校
内 容: 座学・車いす体験・アイマスク体験・高齢者体験
講 師(座学・体験): NPO法人バリアフリーネットワーク会議 親川 修
(体験): NPO法人バリアフリーネットワーク会議 桐原 好枝



子どもたちの反応(先生からご連絡いただきました)

- ・高齢者体験の時にめがねをかけると視野がせまくなったので、「これだけしか見れないんだ」と話していた。
- ・「車いすは早く押されると怖いんだ」と話していた。
- ・イヤマフをつけた時に聞こえづらくて「お年寄り大変だな」という声があった。
- ・車いすを押している子から、車いすをマットに上げるときに「持ち上げるの重い!」「マットの上は動かしにくい」という声があった。
- ・競技用の車いすに興味をもっていた。手を使わなくても回転するのがすごいと言っていた。

日 程: 令和7年10月21日 10:20~12:00
場 所: 北谷町立浜川小学校 体育館
参 加 者: 浜川小学校生徒 4年生 115名
主 催: 沖縄総合事務局、北谷町社会福祉協議会
協 力: 社会福祉法人高洋会
内 容: 座学・車いす体験・アイマスク体験・高齢者体験



福祉新聞

課題

福祉体験

整理・分析

情報収集

アイマスク、白杖体験は暗くて前が見えなく保護がないと無理だと思い高齢者や目が見えない人たちは毎日こんな辛い思いをしているんだなと思いました。

高齢者①②③体験は体が不自由で耳が聞こえなくなったり目が見えなくなったら怖くて嫌だなと思ってお婆さんおじいちゃんかいたら大丈夫ですか、と声をかけたいです。

車椅子体験は骨折したり足が不自由になったら車椅子になり嫌な思いをするんだなと思いました。



まとめ・表現

高齢者は、子供もの頃よりか怖いことをしているんだなと思いました。

お礼の言葉

福祉の中の障害者と老人の思いを教えてくださいましてありがとうございました。

子どもたちの声(生徒作成の福祉新聞のご連絡いただきました)

- ・福祉を勉強できたり、いままで知らなかったことなどを勉強できてとてもいい体験だった。
- ・身の回りに障害者やお年寄りがいる場合はすぐに助けてあげられるように工夫したい。
- ・学んだことを今後の生活に活かしていきたいと思う。

【その他独自の取組】ユニバーサルドライバー研修(令和7年度)

- ・地域の課題等に応じた取組として、内閣府沖縄総合事務局が一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会と共催で、タクシードライバー等を対象としたユニバーサルドライバー研修を開催。
 - ・ジャパンタクシーの乗降演習及びグループディスカッションを実施。
- ＜日 時＞【沖縄本島】令和8年1月15日、【石垣】令和8年2月13日、【宮古】令和8年3月10日
 ＜場 所＞(一社)沖縄県ハイヤー・タクシー協会、八重山タクシー事業協同組合、宮古タクシー事業協同組合
 ＜対象者＞タクシードライバー・運行管理者等

＜研修概要＞ ※沖縄本島開催

(午前) ●開会のあいさつ

沖縄総合事務局運輸部企画室長

●課題紹介

UDタクシーに対する課題紹介

講師：沖縄総合事務局運輸部監査指導課

●講義

・お客様の接客にあたって

・お客様の理解と接遇・介助の留意点

講師：沖縄県ハイヤー・タクシー協会

(午後) ●実技(車いすの取り扱い方と乗車・降車)

●グループディスカッション

＜研修の様子＞



令和8年4月15日現在

無線局一覧

UD

...UDタクシー保有

JB

...ジャンボタクシー又はジャンボハイヤー保有

南部支部

南部支部（企業グループ無線）

無線局	電話番号	台数	会社名	所在地
沖東交通無線  	098-946-5005 0120-21-5005	467	琉球交通 沖東交通 東洋交通 大栄交通 アサヒタクシー 光陽タクシー 東宝タクシー	那覇市 浦添市 宜野湾市 豊見城市 南風原町 北谷町 恩納村 西原町 沖縄市
ひまわり無線  	098-877-8326 0120-11-8326	195	ひまわりタクシー 広栄タクシー 光タクシー 共友タクシー 共和交通 浦添交通 ゆうなタクシー	那覇市 浦添市 中城村 糸満市 北中城村

出典: <<https://www.oki-taxi.or.jp/call.html>>
 (参考) タクシー協会独自の取り組みとして、HP上にて
 UD車両を保有している会社を公表している。

- 令和6年1月に行った意見交換会に参加出来なかった(一社)沖縄県聴覚障害者協会と、首里城公園の歴史的空間に配慮したバリアフリー対応について意見交換を行った。
- ＜＜頂いた主な意見＞＞
- ・非常放送は聞こえないので、火災時に赤色灯などで視覚的に知らせしてほしい。特にトイレにいと分らない。
 - ・コミュニケーションのための手話案内員を配置するか、手書きボードを配備するなどがあるとよい。
 - ・解説展示に手話動画があるとよい。QRコードを読み込んだら手話解説動画が見えるものもある。タブレットの貸出などがあると良い。
 - ・映像展示にテロップの輪郭が白抜き表示になっており背景と同化して見づらい。テロップは黒文字に黄色背景など箱書きのような形が良い。
 - ・エレベーターは扉が透明だと外の状況が確認できる。エレベーター内にモニターがあると外部と顔を見て連絡できて良い。
 - ・聴覚障害者は見た目では耳が聞こえないことが分からないため誤解されることがあるため、聴覚障害者であることを知らせるプレート等があっても良い。
 - ・今回のような意見交換会の機会があり感謝する。施設をオープンする前に障害のある方と意見交換をする配慮があると良い。

＜＜現地見学・意見交換の概要＞＞

日時	令和6年11月21日（木）10:00～12:00
出席者	（一社）沖縄県聴覚障害者協会 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所/運輸部企画室 沖縄県 都市公園課/首里城復興課 （一財）沖縄美ら島財団
内容	1. 現地見学 ・園路（首里杜館～下之御庭） ・広福門（トイレ・券売所） ・奉神門（階段・スロープ・トイレ） ・素屋根見学エリア 2. 意見交換 ・首里城復元に向けた取り組み ・前回（R5.2.28）頂いた意見への対応状況 ・令和の復元の正殿のバリアフリー対策

＜＜現地見学等の様子＞＞



現地見学（奉神門前）



現地見学（火災遺物）



現地見学（後之御庭）



現地見学（後之御庭）

道路のバリアフリー取り組み事例

一般国道331号南城市知念久手堅地区【令和4年度久手堅地区舗装工事 R5.12完成】

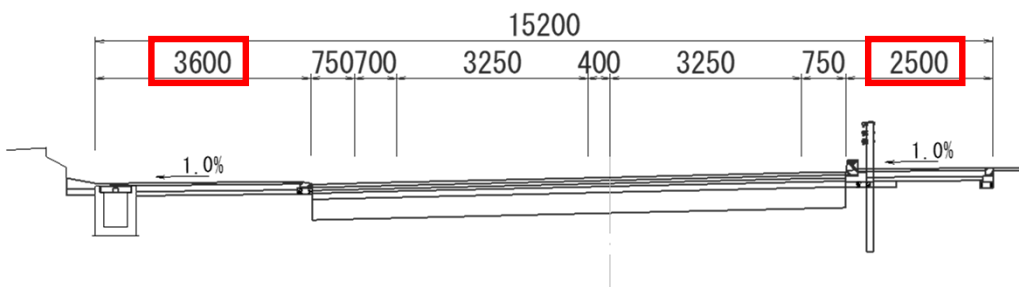
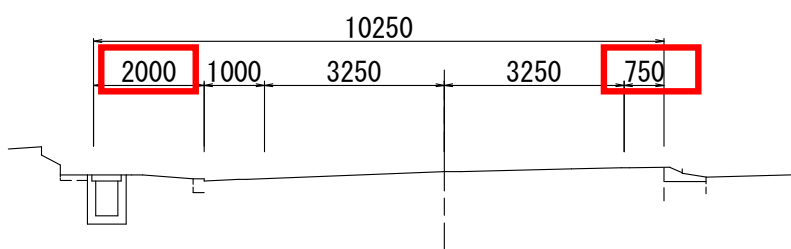
- 当該箇所は、通学路の指定を受けており、世界文化遺産に登録されている斎場御嶽や、南城市地域物産館、知念岬公園等が隣接する、観光客を主とした歩行者の多い地区である。
- 学生や歩行者の安全性向上のため、一部歩道の新設、バリアフリー化に対応した歩道幅員、勾配を確保した。また、同時に電線共同溝を整備し無電柱化とした。



整備前



整備後



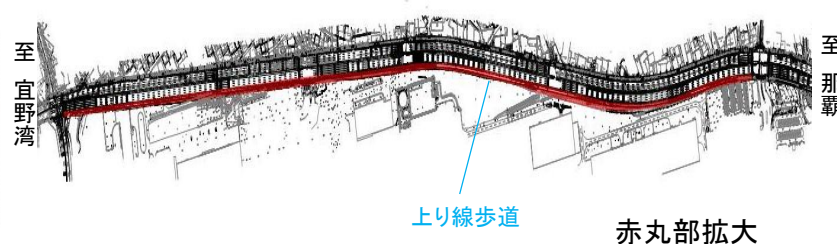
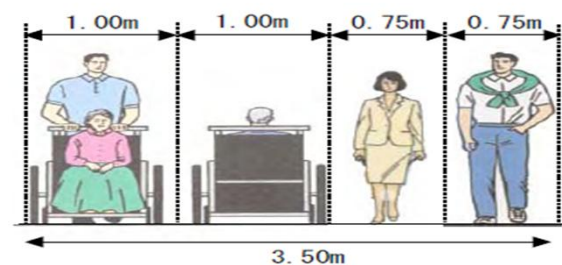
道路のバリアフリー取り組み事例（国道58号浦添拡幅）

一般国道58号の浦添市城間～那覇市安謝間について慢性的な交通混雑が発生し、幹線道路としての機能が低下している状況であることから、現状の6車線から8車線に拡幅することにより、交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図ることを目的とする道路である。令和4年3月27日に暫定開通を行っているが、バリアフリー化に対応した歩道幅員、視覚障害者誘導ブロックを設置した。



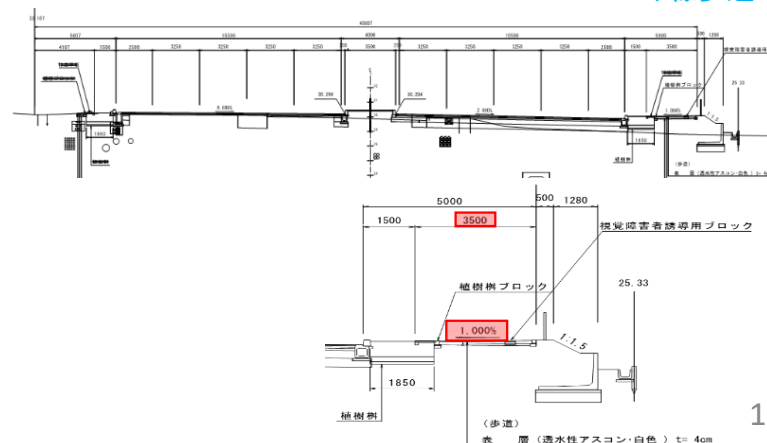
平面図

断面図



下り線歩道

上り線歩道



- 安全かつ円滑な交通を確保するため、歩道幅員を3.5mとし、視覚障害者誘導用ブロックを適切に配置。

○海洋博公園では園内施設等を網羅したバリアフリーマップを作成し、全てのお客様が快適にお過ごしいただけるよう努めている。



優先駐車場の確保



補助犬マーク



スロープの設置と各施設への送迎



ベビーカーと車椅子(電動あり)の貸出



海洋文化館へ向かうEVの設置



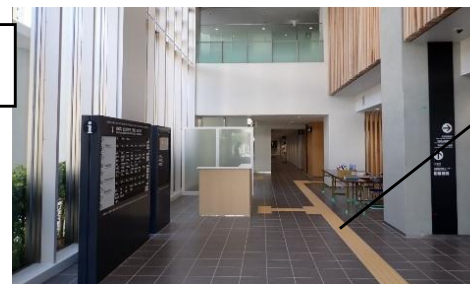
多目的トイレ(写真はオストメイト対応)の設置



授乳室の設置

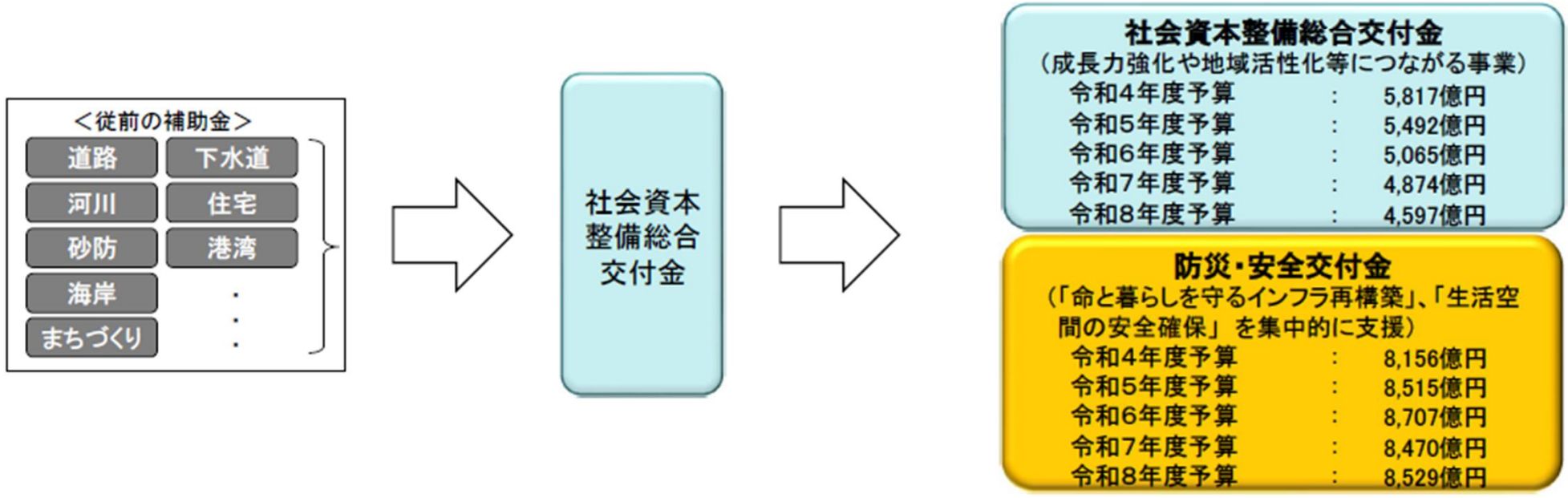


スロープによる
段差解消

[illegible][illegible]

15

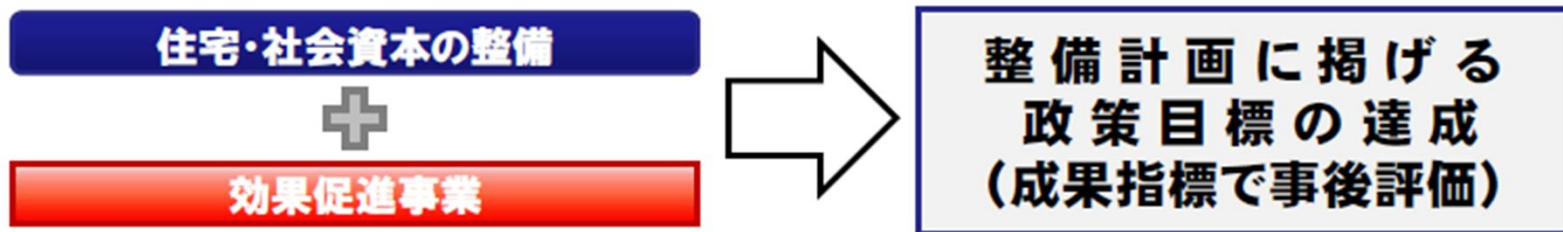
- ◇ 社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。
- ◇ 防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。



両交付金の概要

- ◇ 地方公共団体は、地域が抱える政策課題を自ら抽出し、定量的な指標による目標を設定した、おおむね3～5年の「社会資本総合整備計画」を作成。(国は整備計画に対して国費を配分)
- ◇ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業(要素事業)へ国費を充当。
- ◇ 基幹事業(道路、河川等の17事業)の効果を一層高めるソフト事業(効果促進事業)についても、一定の範囲内で創意工夫を生かして実施可能。
- ◇ 地方公共団体が、自ら整備計画の事前評価・事後評価を実施し、HP等により公表。

社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金の対象事業



住宅・社会資本の整備

基幹事業

- 道路
- 上下水道
- 住宅
- 港湾
- 海岸
- 住環境整備
- 河川
- 都市公園
- 地域公共交通再構築
- 砂防
- 市街地
- 等

(社会資本整備総合交付金の例)

- ・産業・観光振興等による活力ある地域の形成
例) 都市公園の整備
- 例) 港湾施設の整備



- ・民間投資を誘発する取組
例) PFI等を活用した下水汚泥固形燃料化施設等の導入



(防災・安全交付金の例)

- ・インフラ老朽化対策
例) 公園施設の改修



- ・生活空間の安全確保
例) 自転車通行空間の整備



- ・事前防災・減災対策
例) 流域治水対策(風水害・土砂災害への対策)

効果促進事業

- 計画の目標実現のため基幹事業と一体となって、基幹事業の効果を一層高めるために必要な事業・事務
- 全体事業費の2割目途

(社会資本整備総合交付金の例)

- ・観光情報の発信(観光案内情報板の整備、観光PR等)
- ・社会実験(シェアサイクル、道路の歩行者優先化等)
- ・計画検討・策定(住生活基本計画等)

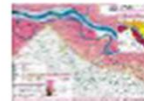
例) 観光案内情報板の整備



(防災・安全交付金の例)

- ・ハザードマップの作成・活用
- ・防災教育、防災訓練の実施
- ・災害時のための資機材整備(マンホールトイレ、可搬式ポンプ、災害用井戸等)
- ・遊具の修繕

例) ハザードマップの作成・活用



例) 防災訓練の実施



事業名： 都市・地域交通戦略推進事業

支援策の概要		都市・地域における安全で円滑な交通を確保し、魅力ある都市・地域の将来像を実現するため、徒歩、自転車、自動車、公共交通の適正分担が図られた交通体系を確立し、もって公共の福祉に寄与することを目的として、 <u>自由通路、駐車場、バリアフリー交通施設等</u> の公共的空間等の整備に対して支援を行う。
支援策の内容	対象者	地方公共団体 等
	対象事業	1)整備計画の作成に関する事業 2)公共的空間等の整備に関する事業(公共的空間の整備、駐車場の整備、 <u>バリアフリー交通施設の整備</u> 等) 3)公共的空間又は公共空間の整備に併せて実施される事業(都市情報提供システムの整備 等)
	対象地域	①都市・地域総合交通戦略を策定している区域または策定することが確実と見込まれる区域 ②立地適正化計画を策定している区域 ③都市機能誘導区域と地域生活拠点とを結ぶ公共交通ネットワークを含む区域 ※整備計画の作成に関する事業以外の事業については、地区交通戦略に即地的かつ具体的な位置づけのある事業のみを支援
	交付率	1/3以内(立地適正化計画に位置づけられた事業、 <u>バリアフリー基本構想の重点整備地区で行われるバリアフリー交通施設の整備等</u> は1/2以内)
本省担当部局		国土交通省 都市局 街路交通施設課 TEL 03-5253-8111(内線32-834) FAX 03-5253-1592



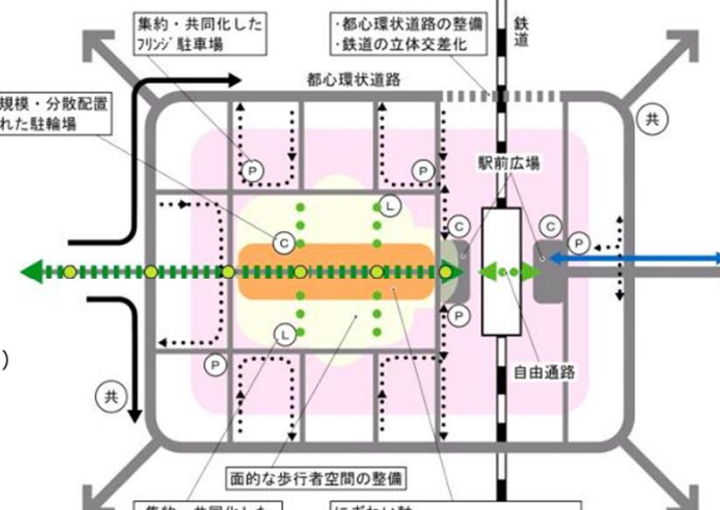
自転車駐車場



公共交通の施設(車両除く)



荷捌き駐車場



都市・地域総合交通戦略推進事業のイメージ・整備事例

都市情報提供システム

自由通路

ペDESTリアンデッキ
交通広場

駐車場

バリアフリー交通施設

都市情報提供システム

自由通路

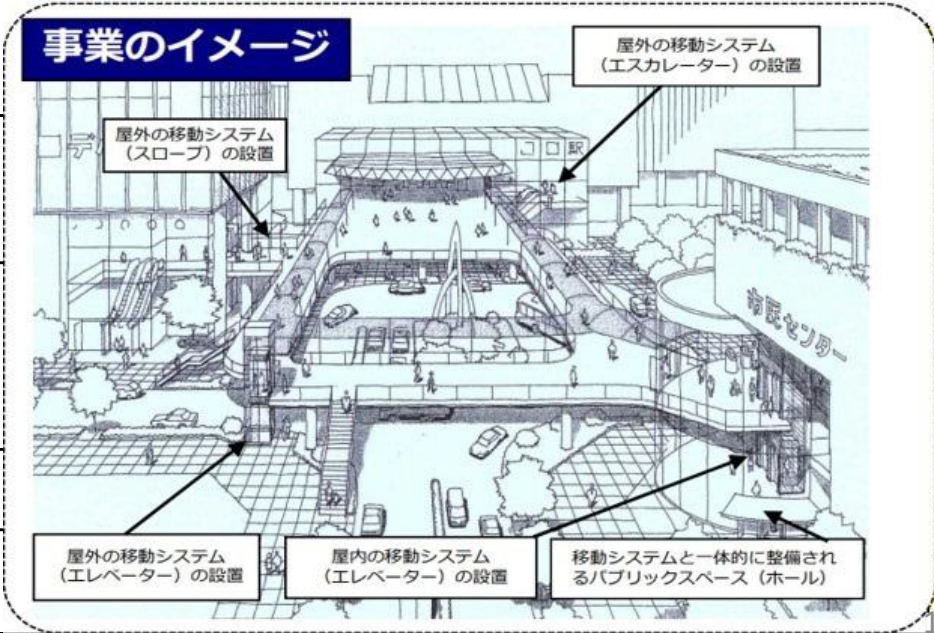
ペDESTリアンデッキ
交通広場

駐車場

バリアフリー交通施設

事業名： バリアフリー環境整備促進事業

支援策の概要		バリアフリー法に基づく基本構想・条例等の策定、移動システム(スロープ、エレベーター等)の整備、小規模店舗をはじめとした既存建築ストックのバリアフリー改修工事等を支援し、障害者等が安心して暮らせる環境の整備を図る。
支援策の内容	対象者	地方公共団体、民間事業者、協議会等
	対象事業	1)移動システム等整備事業 ・基本構想等の策定 ・屋外の移動システム整備(スロープ、エレベーター等) ・建築物の新築、改修に伴う一定の屋内の移動システム整備(市街地空間における移動ネットワークを形成するものに限る。) ・移動システムと一体的に整備されるパブリックスペース(広場、空地、アトリウム、ホール、ラウンジ、トイレ等)等 2)認定特定建築物等整備事業 ・屋外の移動システム整備(建築物敷地内の平面経路に限る。) ・屋内の一定の移動システム整備(商業用以外の特別特定建築物の用途に至る経路に係るもの。) ・移動システムと一体的に整備されるパブリックスペース等 3)既存建築物バリアフリー改修事業 ・高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準に適合させるためのバリアフリー改修工事 ・段差の解消(エレベーター設置) ・出入口の幅の確保・通路の幅の確保 ・車椅子使用者用トイレの設置等
	対象地域	・三大都市圏の既成市街地等 ・人口5万人以上の市 ・一定の要件を満たす都市機能誘導区域等
	交付率	・地方公共団体又は協議会等が施行者の場合 国:1/3、地方:2/3 ・民間事業者が施行者の場合 国:1/3、地方:1/3、民間:1/3
	その他	—
本省担当部局		国土交通省 住宅局 市街地整備課 TEL 03-5253-8111(内39-654) FAX 03-5253-1631



■社会資本整備総合整備計画の制度全般

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課

■バリアフリー支援事業に関する事前の相談等

(都市・地域交通戦略推進事業、バリアフリー環境整備促進事業)

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課

■電話番号

内閣府 沖縄総合事務局 098-866-0031(代)